

# 社協だより

令和3年2月1日

第194号

編集

社会福祉法人

江南市社会福祉協議会

江南市古知野町宮裏121番地

(老人福祉センター内)

TEL・FAX(0587)55-5262

特集

みなさまに支えられて、江南市社会福祉協議会は

法人設立40周年を迎えました!

江南市社会福祉協議会は昭和30年から任意団体として、地域住民の参画を得ながら福祉の推進に向けたサービスや活動などを実施してきました。昭和54年には、より安定的に社会福祉事業を進めるために、社会福祉法人化することになり、令和2年に法人設立40周年を迎えることができました。今号では、法人設立からの40年間のあゆみを2、3ページで紹介いたします。

## おもな内容

- 法人設立40周年～江南市社会福祉協議会の沿革～、江南市社会福祉大会について…………… 2、3ページ
- 20年の活動に幕!! ふれあいサービス「菜の花こうなん」…………… 4ページ
- もっと、もっと、ボランティア…………… 5ページ
- 社協掲示板…………… 6、7ページ
- 愛知県子どもの学習支援ボランティア募集、福祉クイズ、寄付…………… 8ページ

# 法人設立40周年

## 江南市社会福祉協議会の沿革

令和2年に江南市社会福祉協議会は、法人設立40周年を迎えることができました。これまでのあゆみを一部ご紹介いたします。

### 会長挨拶

江南市社会福祉協議会 会長 石川 勇男



本会が、昭和54年12月に社会福祉法人として設立して以来、本年度40周年を迎えることができました。平素より社会福祉協議会の福祉活動につきまして、格別のご支援とご協力を賜り、職員一同心より御礼申し上げます。

社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の中核的な役割を担う団体」として位置づけられています。人と人とのつながりを大切に、誰もが住み慣れた地域で安心した暮らしができるよう、地域共生社会の実現を目指して、地域住民や社会福祉関係者などと協働しながら、「総合支援型社協（コミュニティソーシャルワーク）」の構築を目指しております。

令和3年4月からは、市から受託している「障害者基幹相談支援センター」の人員体制を強化し、障がい児（者）とその家族の方が、地域の中心で安心して暮らしていけるように相談支援の中核的な役割を担ってまいります。

本会では、職員一同決意を新たに、新しい時代の地域福祉の実現と推進を目指して全力を傾注する所存であります。市民のみならず、関係者のみならずのご理解とご支援をお願い申し上げます。

## ◆◆◆ 40年のあゆみ ◆◆◆

今号はなんと...  
194号!



昭和55年～  
社協だよりの発行開始



**昭和54年12月**  
**社会福祉法人として江南市社会福祉協議会が設立**

**昭和56年～ 福祉実践教室事業開始**

市内小中学校・高校を対象に、障がい者への正しい理解と福祉向上のため実施しています。



手話教室



車いす教室

現在も年間延べ約2,600名の児童・生徒が体験（車いす・手話・要約筆記・点字・視覚障がい者ガイド・高齢者疑似体験など）を通して、「ふくし」について学びを深めています。

また、福祉学習プログラムサポート事業として、障がいだけに目を向けるのではなく、「誰もが同じように楽しみ、幸せになることはどういうことか」を、障がい者と児童が継続的に交流することで学ぶ「ふくし交流会」も実施しています。

**昭和56年～ 各種ボランティアの講座の実施**

ボランティアの経験が少ない人を対象にボランティアについて学ぶ「ボランティア入門講座」や、中学生・高校生を対象に、夏休みの期間に福祉施設や保育園などにボランティア体験をする「ユースアクション事業」など、現在のボランティアの講座へとつながっています。



ボランティア入門講座車いす試乗会

昭和56年  
第1回目開催!

**平成6年～ ボランティア相談開始**

ボランティアをしたい人、してほしい人が気軽にボランティアの相談ができるように体制を整えました。

次のページへ



市内1か所目！  
ほのぼのサロン

現在は市内に35か所あり、毎日市内のどこかでサロンが開催されています。また、高齢者だけでなく、精神障がいの方や多国籍の方を対象にしたサロンも生まれています。

### 平成10年～ 子ども福祉塾の開始

小学校高学年を対象に、地域の中で福祉体験学習を行い、「㊦だんの㊧らしの㊨あわせ」について学んでいます。



子ども福祉塾

### 平成15年～

### ふれあい・いきいきサロン事業開始

地域の居場所づくりを目的とした活動が市内で始まりしました。

### 平成24年～ ふくし江南ふれあいまつり事業開始

福祉関係者、関係機関、市民活動団体などと協働しながら、ボランティア活動や福祉活動の理解促進を目的に実施しています。



ふくし江南ふれあいまつり



介助犬PR事業

### 平成24年～ 介助犬PR事業開始

社会福祉法人日本介助犬協会にご協力いただき、小学生を対象に身体障害者補助犬の紹介や、デモンストレーションなどを実施しています。



台風第19号被災地支援

### 随時 災害被災地へ職員派遣

被災地の支援と市町村社協の災害対策に役立てるため、被災地に出向きボランティア活動を実施してきました。東日本大震災や令和元年台風第19号の際など職員を派遣し、被災地支援を行っています。

### 福祉に関する相談体制の整備も行ってきました！

平成22年から成年後見センター事業を開始したことを筆頭に、障がい者の方の権利や暮らし、生活が困窮している方の自立を支える相談体制などが整備されました。その他にも、地域の支え合い活動の仕組みづくりや支援も社会福祉協議会が推進してきました。

これからも地域福祉をより一層推進していきますので、  
今後ともご理解、ご支援をよろしくお願いいたします！

## 法人設立40周年記念 江南市社会福祉大会について

令和2年12月5日(土)に開催を予定していましたが「法人設立40周年記念江南市社会福祉大会」の式典は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止いたしました。本大会は、社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉事業の発展に功績のある方をたたえるところにも、さらなる発展を目指すことを目的としています。永年にわたり社会福祉事業の推進に著しい功績のあった方に対する顕彰については実施し、受賞者の皆様には、表彰状などを送付させていただきました。

### 江南市社会福祉協議会 会長表彰受賞者

- 民生委員児童委員関係 18名
- 社会奉仕活動関係 73名、2団体
- 社会福祉協議会役員関係 3名
- 寄付関係 3名、2団体
- 介護関係 3名

### 江南市社会福祉協議会 会長感謝受賞者

- 民生委員児童委員関係 26名
- 社会奉仕活動関係 59名、4団体
- 社会福祉協議会役員関係 3名
- 民間社会福祉団体役員関係 3名
- 寄付関係 2名、9団体

お話を聞かせていただいたみなさま



サロン終了時に歌う菜の花サロンの歌  
スタッフが作詞、ヒロディは編曲

## 20年の活動に幕!!

特集!

# ふれあいサービス 「菜の花こうなん」

布袋町内にある「菜の花こうなん」は、ほんの少しの助け合いが大きな安心に変わるようにと、会員制（利用会員、協力会員、賛助会員）の助け合い活動や、サロン活動など、人と人とのつながりを大切に活動してきました。しかし、協力会員の高齢化や多様なニーズへの対応が難しくなり、約20年の活動を終えることになりました。今回は、これまで「菜の花こうなん」で活動していたみなさまに、今までの活動を振り返ってもらいながらお話を聞かせていただきました。



菜の花サロン最後の活動

### 「菜の花こうなん」を立ち上げた経緯は？

2000年介護保険制度が始まった年、介護保険制度で対応できずに困っている人を対象に生活支援を行い、支援する側も受ける側もみな対等な立場で助け合うことを基本理念に、事業を始めました。

### 「事業化するにあたって苦労したことは？」

初めは、組織体制づくりと事務所を運営するための維持費などで苦労しました。事業を長続きさせるために、ボランティアではなく有償サービスにしました。当初の活動内容は、入院中の見守り、病院への送迎、子育ての支援、食事づくり、洗濯など活動内容も様々でしたが、最近では協力会員の高齢化により、できる活動が限られ、掃除、買い物、草取りなどが主な活動になりました。

### 「菜の花こうなんが実施する菜の花サロンについて」

活動を続ける中で、地域の方とのつながりを持つ機会として、誰でも参加できる居場所、サロンを開催していきました。最初は知恵も経験もなく不安でしたが、毎月テーマを決めて実施してきました。徐々に口コミで参加者も増え、社協さんの支援もいただけるようになり、バス旅行、調理実習など様々な企画を行ってきました。最後はコロナ禍の中、開催するか悩みましたが、クリスマス会を行い、参加者へ直接、サロンを閉じることを伝えることができてよかったです。菜の花サロン以外にも「男性の料理教室」や「筋トレ菜の花」の自主グループも生まれています。

### 「菜の花こうなんの活動を閉じる理由は？」

協力会員の高齢化や若い世代の加入が少なかったために活動が困難になりました。「無理のない範囲で、やれる人がやれることをやる」という基本理念で始めましたが、年々やれる範囲、やれることが少なくなってきたのが主な理由です。

### 「活動終了にあたり、会員からどんな声が？」

利用会員からは「これから困るわ」という声が多くありました。協力会員からは「これから残っていることを紹介します」。

「時には不安を抱き、時には理不尽だと悩みながら自分なりに活動してきました。そんな中でも、ある利用会員様と10年以上に渡る日々の出来事はまさに『学び』の連続でした。突然のお別れとなりましたが、いつもの『ありがとっ』の言葉と柔らかな顔こそが私にとってお手本となるべきこととして深く心にしみております。」

この声のように、支援する側としてではなく、お互いに一人の人として関わりながら、生きていくよかったですと思えるような生活を送る手助けができたことが私たちの喜びでした。

### 「今後、他の団体や社協に期待する」とは？」

同じ世代だけの活動には限界があるので、若い人が参加できる活動に期待したいです。行政が入って運営をしてもらえるとより安心して活動ができると思います。今までの活動の経験を生かせるような場があったら参加したいです。

### 教えてふくしさん!

### しゃきょうくんの気づき

長い間、助け合いの心を大切にしながら、地域の人とその人らしく生活できるように様々な活動を通して支えてくれていたんじゃないかな。

教えてもらってよくわかったよ。でも、これから困る人がでるかもしれないね。

そうなんじゃ。だがな、「菜の花こうなん」の活動は終わってしまうが、今まで「菜の花こうなん」の活動に関わった人や思いに共感した人はたくさんいるはずじゃ。こういう思いは必ず受け継がれていくから心配せんでええ。それよりも、人と人とのつながりを大切に、たくさんの人を笑顔にしてくれたことに感謝するのじゃ。

うん分かった。これからは僕も助け合いの心を大切にしていくな!